

料金別納
郵便

道志村
山中湖村
忍野村
富士河口湖町
鳴沢村

近隣にお住まいの皆様へ

配達地域指定

山梨県議会議員

流石
やすし

あなたの声を
県政に届ける

県政報告 Vol.2

令和元年11月発行



9月定例県議会

開会：9月18日 閉会：10月4日

9月補正予算

補正予算の規模(一般会計) 33億9,884万2千円
既定予算を合わせると4,783億8,621万7千円



道志村 池谷オートサービス付近の状況

富士山は平年より22日遅く10月22日に初冠雪し、美しい容姿を呈してくれました。さて、東日本を縦断した台風19号は長時間、広範囲にわたり猛烈な雨を降らせ、各地に甚大な被害をもたらしました。県内各地には大雨警報が出されましたが、河川の大きな氾濫等の災害は起こりませんでした。しかし、道志村内で土砂崩れや道志川の増水による被害、早川町での孤立や中央自動車道・中央線の寸断により通勤通学、物資の輸送に深刻な影響を及ぼしました。今後は、災害に備えるための強固なインフラ整備が望まれます。今回の台風19号の災害を教訓に、より一層「安全で安心な地域」を築くために努力を惜しみません。どんな些細なご意見でも結構ですので、お気づきの点をお寄せください。県議会議員としてできる限りのことを行ってまいります。

【山梨活性化促進県議会議員連盟農林部会】

埼玉県の農場から山梨県食肉流通センターに出荷された豚に豚コレラの感染が確認されたことから県では直ちに「山梨県豚コレラ防疫対策本部」を設置し全庁を挙げて取り組んでいる。また、要望書を山梨県に提出した。



【豚コレラの防疫対策の強化を求める要望書】

1. 豚コレラの侵入防止に万全に期すべく必要な対策を早急に講じること。
2. 風評被害の防止に努めるとともに、監視対象農場の検査を確実に実施すること。
3. 万が一感染が疑われる事案や感染が確認された場合は、迅速かつ的確な措置を講じることができるよう、防疫体制の一層の強化を図ること。

本県の新たな
ブランド魚

「富士の介」初出荷



開発のコンセプト

本県の清らかで豊かな水資源を生かした新たな美しいマス類養殖魚を作出

富士の介とは

キングサーモンの血を引くマス類は全国で唯一

・キングサーモンの美しさとニジマスの育てやすさを併せ持つ養殖魚

美味しさ

・うま味が強い ・ニジマスに比べ、肉質・舌ざわりがなめらか
・美しい鮭肉色に仕上がる

育てやすさ

・エサをよく食べる ・ニジマス特有の病気になりにくい

平成30年度 一般会計決算収支の概要

収入総額	4,564億5,344万円
歳出総額	4,500億9,764万円
歳入歳出差引額(形式収支額)	63億5,580万円
翌年度へ繰り越すべき財源	37億7,594万円
実質収支額	25億7,986万円
前年度実質収支額	26億1,563万円
単年度収支額	△3,577万円
財政調整基金積立額	1,124万円
財政調整基金取崩額	25億円
実質単年度収支額	△25億2,452万円

- 【代表質問の要旨】
- ◆人口減少の取り組みは、桃のせん孔細菌病の対策は、
 - ◆火山防災への取り組みは、
 - ◆東京五輪・パラリンピックの交流施策は、
 - ◆中部横断自動車道長坂〜八千穂間の早期事業化に向けた取り組みは、
 - ◆森林管理の市町村支援策を示せ。
 - ◆自転車活用推進計画の地域活性化に向けたサイクリング環境の整備策は、
 - ◆文化芸術振興の推進月間の取り組み内容は、
 - ◆人口減少の取り組みは、
 - ◆ふるさと納税の促進の取り組みは、
 - ◆子どもの貧困の対策の取り組みは、
 - ◆自転車の安全適正利用に向けた条例の狙いは、
- ◆認知症の対策の取り組みは、

編集後記

今年も残り2ヶ月となりました。10月22日に天皇陛下が内外に即位を宣明される「即位礼正殿の儀」が皇居・宮殿「松の間」で執り行われまして。天皇陛下は「国民に寄り添いながら、憲法にのっとり、日本国及び日本国民統合の象徴としてのつとめを果たすことを誓います。」と述べられました。私も地域の皆様にご推挙いただいた県議会議員として、山梨県や富士北麓地域並びに東部地域に新しい風と活力がみなぎるように日々邁進してまいります。

【条例案の可決】
医師の確保を一層促進するため、医師修学資金の返還免除要件等について見直しを行う「山梨県医師修学資金及び医師研修資金貸与条例中 改正の件」などを審議・可決した。

差出人・還付先

流石やすし事務所

山梨県富士河口湖町船津3449 TEL:0555-73-1311 FAX:0555-73-3500
E-mail:fujiisan5@mfi.or.jp

● 県民生活向上

徹底して成果にこだわり、県民生活の向上に還元していく覚悟である。各方面とパートナーシップ構築、特に国とは最優先で信頼関係を築くべきである。

中部横断自動車道の県負担について国に働きかけたところ、総務省が交付税措置の拡充を決定し、負担額がほぼ解消された。今後、長坂、長野、八千穂間についても共通認識を得られて環境影響評価への着手ができた。

● 富士山火山防災

山梨県の呼びかけで活火山を抱える都道県知事と「火山防災強化推進都道県連盟」を立ち上げ、国の財政負担と法制度の整備を要望した。国との緊密な連携のもとで、事前防災対策を実施していくことが不可欠である。山梨県がリーダーシップを発揮して他県と連携して国に働きかける。



● 海外展開

諸外国との人やモノとの交流を活発化させ、国際舞台での山梨の山梨のプレゼンスを高める観点から海外へのアプローチを積極的に展開する。12月に「日中観光代表者フォーラム」が県内で開催される。中国からの誘客促進の絶好のチャンスで中国の要人と強固な関係を築き、県へのツアー造成などを働きかける。「ハラル」への対応も強化する。



● 桃せん孔細菌病対策

まん延すれば、日本一の桃産地というブランドが脅かされる。発生を抑制するため、JJAや市町村と連携して秋に県内全ての桃園で二斉防除を行うことを決め、薬剤費の助成経費を補正予算に計上した。

● 「ワイン」県宣言

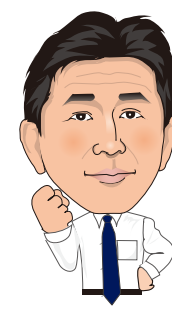
国内外に山梨が日本一のワイン産地であることをアピールし、ワインを切り口に山梨の地域資源の数々を多くの方に堪能してもらう。

相乗効果が期待できる日本酒は、県酒造組合と連携して認知度向上と消費拡大に取り組む。

● 豚コレラ対策

埼玉県の発生農場と同日にセンターに出荷した県内養豚農場を継続して監視する。防疫対策を進めるため追加的に必要となる経費の精査を進め、関連予算を追加提案したい。

より豊かな道志・富士北麓地域を
目指して、知事とともに
歩みます。



9月補正予算の主な内容

- ・ 効率的かつ質の高い医療提供体制構築のため、病床の機能分化・連携や在宅医療の推進等に要する経費
- ・ 生徒に快適な学習環境を提供するため、県立学校への冷房設備の設置に要する経費
- ・ モモせん孔細菌病の発生を抑制するため、農協等が行う一斉防除に対する助成に要する経費
- ・ 県産木材の安定的な供給の実現に向けて、流通体制を構築し、県産木材を利用した企業グループへの助成に要する経費
- ・ ワイン県、宣言を契機に、国内外からの更なる誘客促進を図るため、日本一のワイン産地である本県の魅力をPRする取り組みに要する経費

産業集積促進助成金 (7億1,403万円)
産業集積の促進及び雇用の創出を図るため、県内に立地して事業を開始した製造事業者等に対し、助成金を交付する。

富士吉田警察署建設事業費 (2億1,765万円)
旧富士吉田警察署解体撤去等

聖火リレー開催準備費補助金 (1,095万円)
東京オリンピック大会への県内における機運の醸成を図るため、聖火リレーの円滑な実施に向けた運営計画の策定に対し助成する。

やまなし子育て応援事業費補助金 (5,131万円)
幼児教育・保育の無償化を踏まえ、第2子以降3歳未満児の保育料等無料化の対象期間を拡大する市町村に対し助成する。

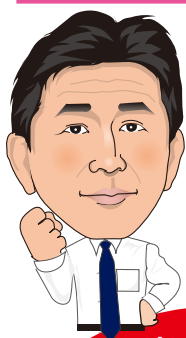
地域医療介護総合確保基金事業費(医療) (1億6,570万円)
I 病床の機能分化・連携の推進 (7,942万円)
II 在宅医療の推進 (1,717万円)
III 医療従事者確保 (6,911万円)

山梨「ワイン県」PR事業費 (3,100万円)
令和元年8月7日「ワイン県」宣言を契機に、国内外からの更なる誘客の促進を図るため、日本一のワイン産地である本県の魅力をPRする。(キャンペーンの実施等)

県産材供給システム強化対策事業費補助金 (1,063万円)
県産材の安定的な供給の実現に向けて、流通体制を構築し、住宅建築等に利用した企業グループに対し助成する。

総合農業技術センター再整備事業費 (8,232万円)
老朽化した施設の耐震化と試験研究報告の強化を図るため、総合農業技術センターの建て替えを行う。

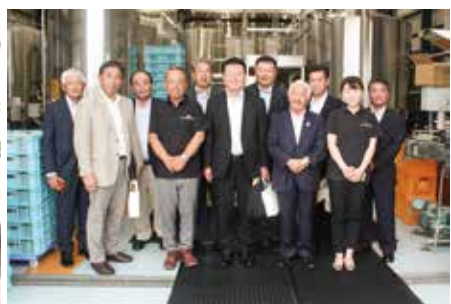
- 県立学校冷房設備設置費 (6億2,838万円)
- モモせん孔細菌病秋季防除対策支援事業費補助金 (1億4,224万円)
- 第1回日中観光代表者フォーラム開催事業費 (1,420万円)



これらの予算を
地元に還元するために、
皆さまからの
ご要望・アイデアを
お待ちしております！



でんき宇奈月 小水力発電+電気バスでエコ温泉リゾートづくり



わくわく手づくりファーム川北 特産品活用の第6次産業



石川県庁で観光振興施策の発言

県外調査
令和元年度農政産業観光委員会 県外調査
調査先…富山県・石川県
日程…8月28日～30日



台風19号被害調査
10月14日 台風19号による道志川増水・土砂崩れ等の状況を調査しました。